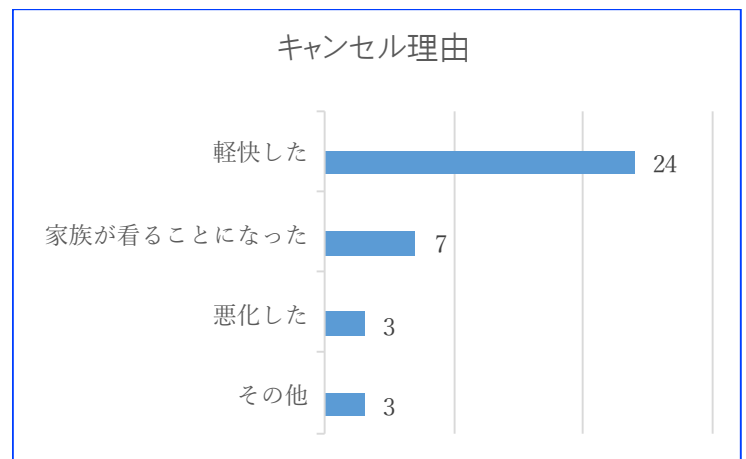
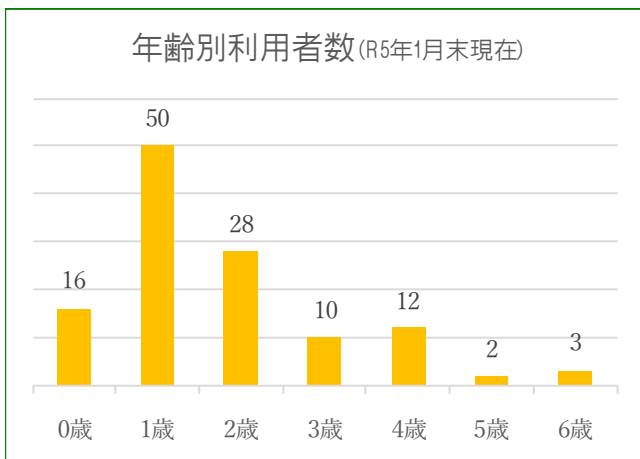
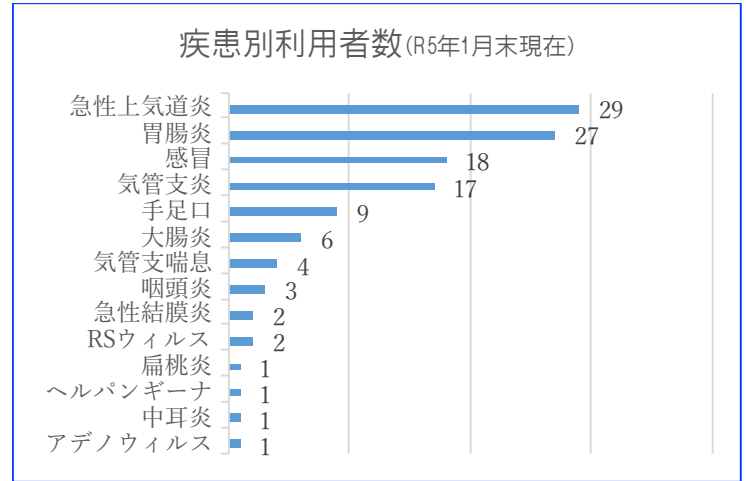
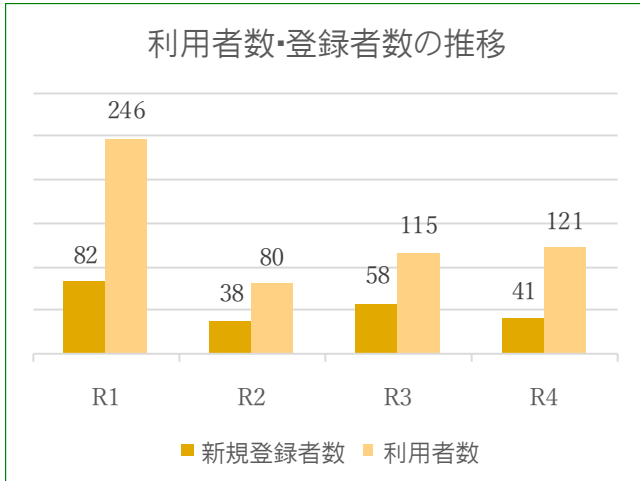


# 笠間市立病院 病児保育室だより

病児保育室から令和4年度利用状況と感染症の予防方法についてお知らせします。

## 令和4年度 病児保育室利用状況



年間を通してご利用の最も多い疾患は急性上気道炎（風邪の症状）です。続いて多い疾患は胃腸炎となっています。病児保育室では、お子さんの体調に合わせて安静を保ちながら過ごしています。

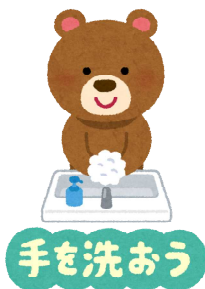
## 病児保育室での感染対策

○室内（個室）は、HEPAフィルター設置の強制換気システムとなっており、1人1室使用です。濃厚接触部分（ドアノブ、スイッチ）、子どもの触れやすい高さのサークル柵は、次亜塩素酸ナトリウムで拭き取り消毒と乾燥をします。

○おもちゃ類は、お子さん同士での共有はしません。使用後は洗濯、次亜塩素酸ナトリウムで拭き取り消毒と乾燥をします。

○リネン類は、一人につき一組使用で物品の共有はしません。使用後は洗濯、十分な乾燥をし、感染力の強い疾患の場合、汚染がひどい場合は一時消毒後に洗浄し、専門業者へクリーニングを依頼しています。

## 手洗い・消毒と手荒れについて

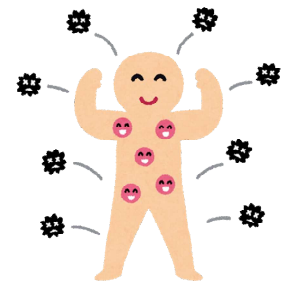


○「手洗い・アルコール消毒」は感染対策において重要視されています。しかし、その一方でこれらは、皮膚のバリア機能を低下させ、手荒れの原因にもなります。手荒れによる傷に入り込んだ汚れは、しっかり手洗いを行っても残りやすく、汚れだけではなく菌やウィルスがついている可能性もあります。手荒れ予防も大事な感染対策です。特に子どもは肌のバリア機能が弱いので、手が何となくカサカサし始めたら、こまめに保湿剤を塗るなどバリア機能を補って水分が逃げないように保護しましょう。

○手荒れがひどい時やまだ肌の弱い小さな子どもはアルコール消毒を使わなくても、手洗いを丁寧に行うことで十分にウィルスを除去できます。アルコール消毒には洗浄力はないので目に見えるような汚れは手洗いを行い、外出先など流水で手洗いができない場合にはアルコール消毒を行うなど、手荒れや状況に合わせて使い分けしましょう。

## ウィルスや細菌に負けないように免疫力アップ！！

○免疫力をアップさせるには、規則正しい生活を送ること、十分な睡眠をとること、バランスのとれた食事をとることが大切です。また、笑うことは免疫力アップにつながります。笑ったり、口角を上げて微笑むだけでも細胞が活性化されるようです。たくさん笑って過ごせるといいですね。



## 病児保育室 Q&A

Q：病児保育室を利用するには？

A：事前に利用登録を済ませておくと初日の利用がスムーズです。

- ①医療機関を受診する前に、病児保育室に空きがあるか電話で確認をして下さい。
- ②医師が記入した「診療情報提供書」（小児マル福適用）が必要となります。  
診療情報提供書は、病児保育室のホームページよりダウンロード、または病児保育室、笠間市役所子ども福祉課、各支所福祉課で受取ることができます。
- ③医療機関受診後、「診療情報提供書」を手元にご準備いただき、再度電話をしてください。  
診断名、お子さんの様子、治療見込み期間等を確認後に予約となります。
- ④利用当日に申込書等一式と必要な持ち物を持参してください。

※医療機関で新型コロナウイルス PCR 検査・抗原検査をされていない場合は、病児保育室の抗原検査キットを使用して検査をいたします。